

山登りで例えるならば

～ 手段・目標・目的について考える ～

【 1:情報収集 】

- ・目的地までの距離(コースタイム)
- ・当日の天気(気温)
- ・山小屋への問い合わせ
- ・登りやすいルート(傾斜や登山道の特色)
- ・エスケープ ルート
- ・危険な場所 など

【 2:準備 】

- ・通常時の準備(雨具・靴・リュックなど)
- ・緊急時の準備(非常食・ヘッドランプなど)
- ・登山のスケジュール伝達(家族や友人へ)
- (登山届の提出を義務付けている山もあります)

【 3:自分の状況確認 】

- ・体調に問題はないか!?
- ・体力的に問題はないか!?
- ・計画に無理はないか!?

目標



【 大切なのは、山を登る目的 】

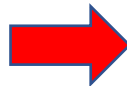
山への一步を踏み出す勇気も必要ですが、いろいろと考えた上で、登らないという選択をする勇気も持ち合わせてください。(状況によっては、途中で引き返す勇気も必要です)

「なぜ山に登るのか!?’ということを、考えることが大切です。その時に、手段・目標・目的に合わせて考えてみると良いでしょう。(下の図で説明をします)

- <例えば> ・達成感を味わいたいから…。 ・自然を満喫したいから…。
- ・自己の技術を向上させたいから…。 【目的】

【なぜ!?’と考える
と目的が見えてきます。

ここから、考えよう!!



山に登ること。【目標】

- <例えば> ・情報を収集する。・準備をする。・自分の状況を確認する。【手段】

【目標】を実現する
方法が【手段】です。

【 新しい学年になるあなたへ 】

人生を山登りに例えるならば、この先にどれだけの山に登ることになるのでしょうか!?’その答えは、誰にも分かりません。ただ一つ言えることは、目の前の山に登ること(目標に挑むこと)で、見える景色が変わるということです。もちろん、頂上で見る景色(目標を達成した時)は素晴らしいと思いますが、たとえ登りきれなかったとしても、その経験はあなたに大きな可能性を与えてくれるはずで、新しい学年になっても、あなたらしく挑戦をしてください。こころより応援しています。

クイズ:「未来への歩き方⑩」



【「ChatGPT」とは!?】

最近、「ChatGPT」というものが、大きな話題を呼んでいます。人工知能(AI)が会話をするように質問に答えてくれるサービスで、日本語では「文章生成AI」と呼ばれています。アメリカのAI研究機関「Open AI」が開発したもので、国内のAI研究者からは「産業革命やインターネットの登場を超える衝撃」と称されるほど画期的なものだそうです。

※18歳未満が使用する際は、保護者の許可が必要となります。

【「GPT」とは!?】



G … Generative

① 【

P … Pre-trained

② 【

T … Transformer

③ 【

GPTとは、上記の3つの英単語の頭文字から作られた言葉です。それぞれの単語の意味は、時間がある時に調べてみましょう!!



【考えられるメリット①】

～文章などを考える場面～

文章の添削や校正などに利用される人もいます。文章を入力し、校正を願いますと、「てにをは」や表現などを適切な形に変換してくれます。

また、「ChatGPT」にキャッチコピーなどのアイデアを出してもらい、それを元に新たなキャッチコピーを考えるという活用方法もあるそうです。

【考えられるデメリット】

① 「ChatGPT」の回答が、正しくないことがあります。フェイクニュースなどの情報が入っていることもあるので、しっかりと見極める能力が必要です。

② 課題提出などで、使用される可能性があります。特に英語などの課題では、この機能を使用して翻訳をする人が出現するかもしれません。

※実は、「ChatGPT」が作った文章かどうかを見極めるアプリもあります。



【考えられるメリット②】

～他言語の習得～

英語の文章を入力すると、英語で返してくれます。その機能を利用して、英作文や会話の練習にも利用できます。

また、翻訳機能として活用することもできます。利用方法によっては、大きな学習効果を生み出す可能性がありそうです。

「正解のない時代に生きる」



ここまでの話を聞いて、「AIが人間の仕事を奪う時代がくるのでは…」という不安をもった人もいます。たしかに、「ChatGPT」の出現は、それを予感させるものかもしれません。しかし、人間にしかできない仕事はたくさんあります。

AIは、条件に応じて「最適」な提案を導き出すことが得意なので、マニュアル化できるような分野で力を発揮します。逆に、人間の社会には、マニュアル化できない分野もたくさんあります。みなさんには、AIを脅威と捉えるのではなく、上手く付き合う力を身に付けてほしいです。

参考:読売中高生新聞 第434号

キャリアナビ通信を読んでいただき、ありがとうございました。来年度も、キャリア教育やSDGsをテーマとした通信を作成します。よろしくお願いいたします。

川名中学校キャリアナビゲーター:茅野武久